「県民球団」日本海L加盟

27年シーズン参戦

岐阜テクノアダイヤモンドリバーズ

日本地域プロ野球リーグ機構(ＪＲＰＢ)の日本海リーグへの加入を目指してきた「岐阜テクノアダイヤモンドリバーズ」の運営会社「Green Light Project」(飯田祥多社長)は５日、同リーグへの加盟が正式に決定し、2027年シーズンから参戦すると発表した。

今後は来季開幕を目指して、さらなるチーム体制の構築、ホームゲーム開催の準備などを進める。飯田社長は「加盟はゴールではなく、本当のスタート。選手が地域で働き、企業や地域住民とつながり、子どもたちに夢を届け、スポーツの力を地域の力に変えていきたい」とコメントした。

球団を巡っては、今年１月に「県民球団準備室」を立ち上げ、組織体制づくりを本格化。７月には業務用ソフトウエア開発「テクノア」(山崎耕治社長)との間で、チーム名のネーミングライツ(命名権)契約を結んだほか、８月にはプロ野球・元ドラゴンズ投手の若松駿太氏を初代監督に迎えることを発表するなど、着々とチームづくりが進められている。(奥澤優芽)

無断複製・転載を禁じます